

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【公表番号】特表 2018-503000 (P2018-503000A)

【公表日】平成 30 年 2 月 1 日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-004

【出願番号】特願 2017-527744 (P2017-527744)

【国際特許分類】

D 0 4 B 9/06 (2006.01)

【F I】

D 0 4 B 9/06

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 2 日 (2020.11.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

丸編み機であって、この丸編み機がニードルシリンダ (1 1) とダイヤル (1 2) を有し、

前記ニードルシリンダ (1 1) の内において、シリンダニードル (1 3) が長手方向に位置移動可能な支承されており、

前記ダイヤル (1 2) の内において、ダイヤルニードル (1 4) が半径方向に位置移動可能に支承されている様式の上記丸編み機において、

前記シリンダニードル (1 3) に所属して設けられた、シンカとして形成された補助エレメント (1 5)、および、

前記ダイヤルニードル (1 4) に所属して設けられた、シンカとして形成された補助エレメント (1 6)、並びに、

前記シリンダニードル (1 3)、および、前記ダイヤルニードル (1 4) への、別個の系供給部、が設けられていること、および、

前記シリンダニードル (1 3) と、前記ダイヤルニードル (1 4) とでもって、同時に、別個の丸編み地 - 製品帯状体 (1 9、20) が製造可能であり、

その際、前記ダイヤルニードル (1 4) によって形成された前記丸編み地 - 製品帯状体 (20) が、前記シリンダニードル (1 3) によって形成されたこの丸編み地 - 製品帯状体 (1 9) の内側に位置していること、および、

編み目形成における、前記ダイヤルニードル (1 4) の送出し移動の際に、所属する、シンカとして形成された前記補助エレメント (1 6) が、引戻し移動を行うこと、および、編み目形成における、前記ダイヤルニードル (1 4) の引戻し移動の際に、所属する前記補助エレメント (1 6) が、送出し移動を行うこと、を特徴とする丸編み機。

【請求項 2】

前記シリンダニードル (1 3) と、前記ダイヤルニードル (1 4) とでもって、それぞれに、同一の、または、異なる、編み地 (1 9、20)、または、異なる織度の編み地が製造可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の丸編み機。

【請求項 3】

前記ダイヤル (1 2) は、前記ニードルシリンダ (1 1) よりも小さな直径を有してお

り、および、前記ダイヤルニードル（１４）と前記シリンダニードル（１３）とによって、異なる直径の編み地が製造可能であることを特徴とする請求項１または２に記載の丸編み機。

【請求項４】

前記シリンダニードル（１３）、および、前記ダイヤルニードル（１４）によって形成された前記丸編み地 - 製品帯状体（１９、２０）は、共に１つの引出し装置から、または、別個の引出し装置から引き出し可能であることを特徴とする請求項１から３のいずれか一つに記載の丸編み機。

【請求項５】

１つの引出し装置が設けられており、この引出し装置が、１つのスプレッダ、および、両側で、１つずつの切断装置を備えていることを特徴とする請求項４に記載の丸編み機。

【請求項６】

１つの引出し装置が設けられており、この引出し装置が、一方の側で、１つの切断装置を有する１つの開反装置を有していることを特徴とする請求項５に記載の丸編み機。

【請求項７】

１つの開反装置を有する１つの引出し装置と、開反装置の無い１つの引出し装置とが設けられていることを特徴とする請求項４に記載の丸編み機。

【請求項８】

前記生産された丸編み地 - 製品帯状体（１９、２０）のための、１つまたは２つのヤールたたみ機が設けられていることを特徴とする請求項４に記載の丸編み機。

【請求項９】

編み目形成における、前記シリンダニードル（１３）の送出し移動の際に、所属する、シンカとして形成された前記補助エレメント（１５）が、引戻し移動を行うこと、および、編み目形成における、前記シリンダニードル（１３）の引戻し移動の際に、所属する前記補助エレメント（１５）が、送出し移動を行うことを特徴とする請求項１から８のいずれか一つに記載の丸編み機。

【請求項１０】

シリンダカム部材（３０）が設けられており、このシリンダカム部材が、前記シリンダニードル（１３）の送出し移動および引戻し移動の制御のためのニードルカム（３２）と、シンカカム（３６、３７、３８）とを有し、これらシンカカムをもって前記シリンダニードル（１３）のための前記補助エレメント（１５）が垂直方向に移動させ得る及び／または水平方向の軸線を中心として旋回運動させ得ることを特徴とする請求項１から９のいずれか一つに記載の丸編み機。

【請求項１１】

ダイヤルカム部材（４０）が設けられており、このダイヤルカム部材が、前記ダイヤルニードル（１４）の送出し移動および引戻し移動の制御のためのニードルカムと、シンカカム（４１、４２、４３）とを有し、これらシンカカムをもって前記ダイヤルニードル（１４）のための前記補助エレメント（１６）が半径方向に移動させ得る及び／または水平方向の軸線を中心として旋回運動させ得ることを特徴とする請求項１から１０のいずれか一つに記載の丸編み機。

【請求項１２】

前記補助エレメント（１５、１６）は、それぞれに、前記ニードルシリンダ（１１）内において、および、前記ダイヤル（１２）内において、または、別個の装置内において支承されていることを特徴とする請求項１から１１のいずれか一つに記載の丸編み機。

【請求項１３】

前記ダイヤル（１２）は、高さ調節可能であり、且つ、前記補助エレメント（１５、１６）、および、前記ダイヤルニードル（１４）への系供給部、または、前記シリンダニードル（１３）への系供給部が、無機能にされ得、従って、このシリンダニードル（１３）と、このダイヤルニードル（１４）とでもって、

共に、ダブルフェイス丸編み地 - 製品帯状体 (2 1) が製造可能であることを特徴とする
請求項 1 から 1 2 のいずれか一つに記載の丸編み機。